

## 投稿

疾患解明などの人の健康を考える際、自然界とのかかわりとあわせ、それぞれの個体がもつ「解剖生理」面での、時系列（系統発生的視野）からの、新たなる「事実」を見いだす必要がある。

筆者、縁あって、上気道の感染防御免疫分野にかかわることに、現時点での把握につとめているが、この「系統発生」的視野からの「論述」が少なく、「B細胞」の由来となった「ファブリキウス嚢（鳥類）」が、目立つただけだ。消化管内の組織として、感染防御にかかわっているとされる。局所粘膜の一部ではあるが、指示機能があるともいわれる。

外界の微生物と常に遭遇しているのは、口腔から肛門までの「消化管粘膜」であり、気道・泌尿器ほかの粘膜組織である。これらの中「ファブリキ

## 自然との関わり、より有機的に



河原田 和夫

あろう。

筆者は、「上気道粘膜での指示機能」として、口蓋扁桃などの扁桃組織にあるのではないかと検討したが、不可であった。あわせて「系統発生」的視野での知識の欠落にきがついた。

そもそも、外界の微生物とじかに接しているのは「消化管粘膜」であり、抗原抗体反応の大部分は、ここでいとなまれるであろう。この面での知見要するわけであるが、人体実験とまがうので、すすめるわけにはいかない。哺乳類などでの知見から、再検討が急が

「グループ」や「まびこ」で最高8千万円Q 募集中のチラシが入った「グループ生命保険」と「やまびこ共済」、この掛け捨ての生命保険、2つを利用するのメリットは？

A 団体契約のため保険料が安い。保険医協会の「クループ生命保険」、協同組合の「やまびこ共済」、いずれも死

れる。そして、機能保持の維持装置があることから、こうした面からの、再出発いそきたいものだ。

ポリオウイルスがそうであったように、すべてのウイルスでの免疫は「腸管粘膜下リンパ装置」の活用で解決するであろう。特に、インフルエンザウイルスなどの呼吸器関連ウイルスでは、現行の経皮接種では、血中の中和抗体（IgG抗体）値が上がるのみで、感染防御には、役だっていない。「経消化管生ワクチン」誕生が、早期にのぞまれる。

（長野市・あおぞら診療所 いまい）

## 原稿募集！

医療・社会保障全般、時局問題等での論評や意見、学会報告、書評、スポーツ、趣味など幅広く原稿を募集中！ 院所や地域での活動を紹介できる「会員広報室」欄もあります。モノクロ写真になりますが写真エッセイなどの投稿も歓迎。原稿等は1面題字左の本紙発行元まで、郵送、ファクシミリ、メール等でお送りください。掲載文につき図書カード2千円分贈呈。

## 税務・経営電話相談

県保険医協会の税務・経営電話相談は、顧問税理士の土屋信行氏により、実施しています。時間と受付電話は、次の通りです。

平日の受付時間  
10：00～12：00  
13：00～16：00  
受付電話 0 2 6 9 - 3 3 - 3 2 6 5（しらかば

会計事務所）

当日、土屋税理士（写真）が不在の



場合には、会員である旨と連絡先を伝言して下さい。税理士の方から連絡をとらせていただきます。

午後7時40分～9時40分 長野・松本・佐久・飯田を結ぶ電話会議で開催。出席役員：鈴木会長、市川、奥山、中島、矢崎、山崎各副会長、後藤、多田、林、布山、野口、三田各理事 議長：中島副会長

## 会務報告・会計報告など

4/1現在会員数を確認（前号会員数欄参照）、11年度年間3名増と確定。新点数検討会は歯科108医療機関140名、医科230医療機関630名と前回は若干下回った。1月度の収支差で122万円のプラスについて稼働日数が短かった点や大きな支出がなかったことが上げられた。

・新規事務局員の紹介等...青木事務局員が4/1付入局、勤務を開始している旨報告及び自己紹介。保団連主催の新人研修会（5/7～5/9）に参加する。

・パートタイム従業員の採用...3/22より新たなパート従業員として松橋氏を採用、4/1付で契約更新。

・「保険診療の手引」編集に事務局派遣依頼...例年通り増田事務局員を派遣。

## 医療運動

(1)社会保障・税一体改革への対応...

## 理事会便り

## 4/16の主な討議と決定等

保団連国会行動(4/19)に参加する 県社保障推進協議会として国会内集会(5/23)を開催、地元選出国議員に消費税、一体改革等で要請を行う。

(2)消費税増税反対・ゼロ税率求める会員署名...院長ファックス署名を実施し、上記の国会内集会で提出する。

(3)県の福祉医療制度の改善...福祉医療給付制度の改善を進める会としての県知事と懇談(3/29)の内容、窓口無料を求める知事宛署名43,491筆は過去最高の数（労組会議も18,000筆協力）を確認...同会加盟団体として6月県議会への請願署名に協力、同会総会(5/19)に参加する。

## 第33回定期総会方針の具体化

活動方針に基づき、活動内容について討論、保険点数、医事紛争の予防・対応の講習会、審査指導対策としてのカルテ記載の講習会などの準備を進める。TPP参加反対では会員の経営問題の視点でも活動を強める、等を確認。

・理事会運営...本年度の定例日を第3月

曜日とした。

・常任理事の互選...昨年度の常

任理事、前副会長を常任理事と

し、医科役員から常任理事を補充する。

・任務分担...日常世話役委員会の名称を「経税・共済委員会」と変更。保険・学術委員会は委員会内で保険と学術で委員長を分け、保険・学術委員長及び保険委員長は中島副会長、学術委員長は矢崎副会長、地域医療委員長は奥山理事、経税・共済委員長は三田理事、広報委員長は山崎副会長が担当。

・事務局員の入退局に伴う事務局任務分担の変更について報告。

保団連専門部員等の委嘱等... 現行の部員と小委員を保団連に推薦。新たに政策部に宮沢副会長、社保審査部会(歯科)に池上理事を本人了解の上推薦。三田理事への参与委嘱について長野協会として確認した。代議員は現行通りの鈴木会長、野口理事。

## 北信越ブロック申し合わせ(案)

他県の事前協議では会議は年1回とすることで合意している旨報告されたが、長野としては「原則2回」を提案する。

亡保障4千万円上限の保険。2つ利用で66歳までなら最大8千万円の死亡保障が得られる。

66歳からは上限が1千万円となるので2制度の利用で最大

2千万円の死亡保障となる。70歳までに加入して入れば、75歳まで継続できる。

## 活動日記

下記で場所記載なしは長野市で開催又は実施。4地区電話会議は長野佐久松本飯田を結んでのもの。[ ]内は担当役員・事務局名で一部に略や保団連役職名での記載もある。

4/22(同日の前号の続き)\*TPPと医療情勢について全国病院理学療法協会長野支部会で講演[三田理事、宮沢事務局長]\*マイナンバーシンポジウムin長野(三田事務局員)

4/23\*医科Q&A検討会が上田で[講師：井出、増田事務局員、参加66名]\*「歯科保険診療の研究2012年4月版」を歯科の開業医会員に発送4/24\*医科Q&A検討会が長野で[講師：中島副会長、井出、増田事務局員、参加79名]

4/25\*「消費税増税反対とゼロ税率を求める」会員署名をかりの登録ありの開業医会員に依頼送信\*医科Q&A検討会が松本で[講師：丸山理事、井出、増田事務局員、参加117名]

4/26\*医科Q&A検討会が飯田で[講師：井出、増田事務局員、参加71名]

5/7\*保団連新人研修が11日まで名古屋で[青木事務局員]

5/9\*保団連歯科政策部会議に松本から電話会議参加[市川理事、原事務局員]

5/10\*保団連歯科政策部会議(前日同様)\*北信越の事務局員・社保担当事務局会議が直江津で[宮沢事務局長、増田事務局員]

5/11\*県社会保障推進協議会(以下で県社保協)事務局会議[宮沢事務局長]\*福祉医療給付制度の改善を進める会事務局会議[同上]

5/12\*保団連病院有床診療所小委員会が東京で[井出委員]

5/13\*保団連病院有床診療部会が東京で[同上]

5/14-17\*[保険診療の手引]事務局編集会議が名古屋で[増田事務局員]

5/15\*歯科部会を4地区電話会議で開催、改定のその後、歯科技工士の対面行為、電話相談の対応基準などを討議[市川、宮沢副会長、池上、後藤、河野、林、布山理事、久根下、西島部員]

5/16\*関東信越厚生局長長野事務所て開示資料受け取り及び新規開示請求[三田事務局員]

5/17\*保団連国会行動[市川理事]

5/18\*福祉医療給付制度の改善を進める会として県医、県歯に賛同依頼[宮沢事務局長]\*県社保協幹事会[同上]

5/19\*保団連歯科理事会会議が東京で[市川理事、原事務局員]\*福祉医療給付制度の改善を進める会総会[宮沢事務局長]

県保険医協会事務局  
窓口時間のお知らせ

昨年11月1日より下記の時間に変更になっています。

月～金 8:45～18:15  
(12:00～14:00は、昼食時間交代制により応対可能です)

長野県保険医協会の会員数 5月1日現在1,341人（医科736、歯科605）